ナイス福岡 会報
自然感 くすのき
2018年12月
第281号

視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○㊱

冬になったばかりだというのに、春の花のホトケノザが花を咲かせていた。春と秋は、同じような気温になるので、春の花が秋に咲くことは無くはないが。それから、私が野鳥を見始めたころは、川のそばに行くと、まだ川面が見えないうちから、「グァーグァーグァー」「ピュー」などとカモたちの声が賑やかに聞こえてきて、『おお、来てる来てる！』と思いながら、姿を見に行ったものだったが、最近ではあの川面はガラーン。

ほんの何十年か前までは、順当に季節は廻っていたように思うが、最近ではめちゃくちゃ。人は、天気予報などで寒くなるとか、暑くなりそうとか、ある程度予測ができて、それに備えることもできるけど、生きもの達はさぞ、きつい思いをしているのではないかと心配になってしまう。同じ種類でも個体によってそれぞれが判断して対応しているような気もする。

私の少ない経験の中で思うことなので、あまり当てにはならない考えだが、人間が引き起こしたと思われる気候変動や環境破壊などに、生きものたちは、地球上の生命たちは、どっこい対応していくのだろうか。

＜さんじゃく＞

お問合せ：　福岡県自然観察指導員連絡協議会
（NAIS Fukuoka：The Nature Interpreter Society of Fukuoka）
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作･山本勝･松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0144　福岡市城南区梅林２丁目１０番２３号
ハイツ中村４０１
自然案内舎㈲クラバード内　TEL & FAX：092-４００-１７６５
URL：http://www.kurabird.com/
掲示板 URL: http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/

★都市公園で自然観察会　91★

春日公園で、秋を、ゆっくりと観察します。

☆日時　１２月１５日　（土）　集合１０時 ～ 解散１２時

第３日曜日の午後から第３土曜日の午前中に変更。

☆場所　春日公園・旧売店　前

会員２００円、一般３００円です。協力をお願いします。

【連絡先】　担当：田村　耕作
TEL ０９２－４００－１７６５〔ＦＡＸ兼用〕
Email　kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部　主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

１２／１６（日）１／２０日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時　間：9:00～12:00
集　合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

１２／２３（日）１／２７（日）
久末ダム探鳥会（福間町）
時　間：9:00～12:00
集　合：久末ダム多目的広場横
　　駐車場　（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

１／６（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時　間：9:00～12:00
集　合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

１／１２（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時　間：9:00～12:00
集　合：ボート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

１／１３（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時　間：9:00～12:00
集　合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

１／８（火）
県営春日公園（春日市）
時　間：10:00～12:00
集　合：旧売店前
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

１２／２３（日）
甘木山ハイツ駐車場（大牟田市）
時　間：9：00～
集　合：公園内すいせん橋
問合せ：090－7446－9047
　　（野田達行）

福岡植物友の会

１月は直接お問合せください。
問合せ：佃　昇（092-662-2983）
参加は有料　詳細はお問合せ下さい

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/

１／１２（第２土曜日）
自然観察会（植物･昆虫･野鳥など）
集　合：九州歴史資料館駐車場
時　間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
参加された方には新しい「自然観察マップ」も差し上げます。
ブログ　「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索
観察会や様々な生きもの情報を載せています

１２／１５（土）
講演会
環境ホルモン空騒ぎの真実
講　師：河内俊英（農学博士、
　　筑後川水問題研究会事務局長）
時　間：14：30～16：30
集　合：久留米市役所 3 階会議室
問合せ：0942-38-8050
　（久留米第一法律事務所内
　　古田順子）
主　催：筑後川水問題研究会
共　催：久留米の自然を守る会

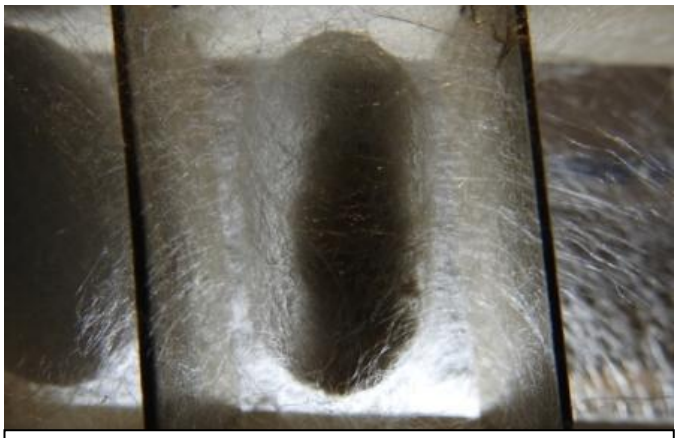
和白干潟を守る会　主催

１２／１５（土）
守る会定例会議
時　間：10:30～
集　合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

１２／１５（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時　間：15：00～
集　合：海の広場　駐車場なし
　　長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

2018年11月
私のデジカメ日誌より
本のむし

今回は、１１月１日（旧暦９月24-日）～１０月３１日（旧暦１０月２３日）までのデジカメ日誌です。



11月3日（旧暦9月26日）　福岡市博多区マリンメッセ
工芸 EXPO を見に行った。カイコ（家蚕）の繭である。美智子皇后は別種のクワコ（小石丸）という純国産種を飼育されている。正倉院御物の修復に使われる。

11月14日（旧暦10月7日）　愛媛県今治市大三島
大山祇神社の境内。樹齢 3000 年、日本最古の大クスと案内があった。樹胴はほとんど空洞であった。武雄の大クスも樹齢3000年だった。紀元前1000年というと、縄文時代と弥生時代の境目論争の区切りだ。見てみたい世界！

11月29日（旧暦10月22日）　筑紫野市天拝公園
散り始めたモミジの枝に、アトリの群れが 30 羽ほど、種子をついばんでいた。冬鳥たちの季節がやってきた。

11月10日（旧暦10月3日）　広川町久泉太原地区
イチョウの黄葉を見に行った。地上8mほどの葉裏に、チョウが止まっていた。ツマグロヒョウモンの♂のようだ。幼虫越冬の種のようだから、この個体はもう死ぬのか。

11月21日（旧暦10月14日）筑紫野市天拝坂
庭のオオヤマレンゲにイセリアカイガラムシが取り付いていた。最近樹勢が衰え心配していたらこれである。これでも昆虫の仲間で、カイガラムシの中では自分で移動できる厄介者である。虫には悪いが削がせてもらった。

11月30日（旧暦10月23日）　福岡市中央区春吉雷橋
私が幼稚園の頃は、この橋の下の薬院新川は、どぶ川であった。それでもベンケイガニなど採って遊んでいた。
今は川もきれいになり、下流に堰ができてからは、毎冬にカモが現れる。

くすのき　2018年12月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka　福岡県自然観察指導員連絡協議会

第 548 回自然観察指導員の講習会が終わりました。その報告です。

直前の準備もあり、11/30（金）午後から熊本県、佐賀県と福岡県から講師も含め 17 名が集りました。この日を含めた 3 日間の天気予報は、穏やかで気温も寒すぎず、いい塩梅でした。前回福岡県で実施した折の天気を思えば、大変恵まれた天気で過ごすことができて、何よりでした。

参加者 65 名は、国立夜須高原青少年自然の家を舞台とした第 548 回ＮＡＣＳ－Ｊ自然観察指導員講習会を終了し、新しく 65 名の観察指導員が誕生しました。企画段階では、他の例もあり、参加者がどれくらい集まるかが、大変心配されましたが、三県のスタッフとＮＡＣＳ－Ｊ担当の高川さんの努力で 70 名近い応募があり、うれしい抽選かなと思いましたが、若干のキャンセルもあり、応募者全員の参加となりました。

まず野外で、開始

上空から見た講習会会場の森

クヌギ林で

森の中で実習

森の中に積もった落ち葉の観察

子育て中の両親が、家族 3 人で参加し、3 歳の子供をスタッフが対応したことも新しい展開でした。

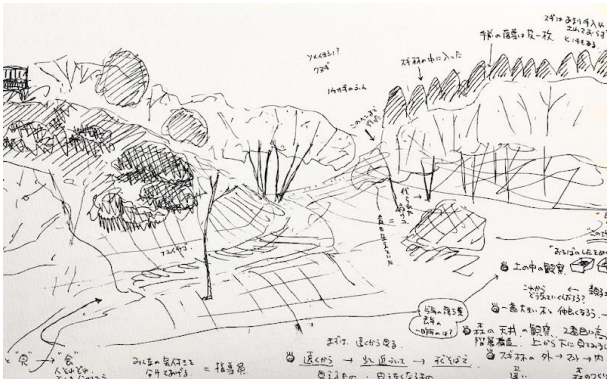
新しい指導員が、それぞれの地域で始める自然観察の輪の広がりに期待したい。報告：田村耕作

自然観察指導員のイメージが変わった２日間　　志賀壮史（受講生）

平成３０年１２月１，２日に夜須高原青少年自然の家で行われた「NACS-J 自然観察指導員講習会」を受講してきました。冒頭で進行役の高川さんから「第 548 回目となる…」と紹介があった時点で，その歴史の長さや関わってきた方の多さに驚きました。

２日間の感想を一言にすると「自然観察指導員のイメージが変わった」です。それまで漠然と「知識伝達型」という印象を持っていましたが，講習では動植物の名前や生態的な知識はあまり扱われません。むしろ伝え方や場づくりの方法，背景となる考え方などに重点を置いた内容で，自然観察指導員は「ファシリテーション」を指向したものだと感じました。

野外実習「自然観察会の開催」では，ソメイヨシノの幹肌に生きものが何種類いるか？みんなで探してみましたが，終了後，リーダーのＨさんから「若さはないけど安定してる」と講評をいただき，ちょっと「若さ」や「冒険」を意識しようと思って帰ってきたのでした（笑）。



自然観察指導員講習会に参加して　大野敦子（受講生）

12 月 1 日と 2 日に夜須高原でおこなわれた自然観察指導員講習会に参加して参りました。2 日間とは思えないほど濃い内容を実習から、講義から学ぶことができました。

印象的だったのは初日におこなった森をみる実習です。すぐに森に入るのではなく、まず遠くから森を観察しスケッチすることからスタートしました。気づいたことを分かち合い、森の前へ移動します。近づいて新たに発見したことを考え、今度は森の中へ。入ってみてどう思ったかを聞かれます。次は木の高さに注目した観察をおこない、そのあとにペアを組み、樹木の赤ちゃんつまり実生がないかを探しました。最後には班に分かれて、地面の土を掘り観察しました。

丁寧にひとつずつ、指導員の投げかけに対して自分でじっくり考え、他の方の意見も聞く。その繰り返しを通して、森への理解を深めていくことができました。焦らずじっくりとおこなうと、たくさんの発見を参加者から引き出すことができると体験から学ぶことができました。

一番楽しむことができたのが最後の5分間の観察会発表でした。私はクワの木の葉っぱの虫食いの跡を参加者の方とじっくり虫メガネで観察することにしました。よーく見るとその跡から、大きい虫だろうか、小さい虫だろうか、どこから食べたのだろうかと、色々な想像ができて楽しいと思ったからです。丁寧に参加者の反応を大事にしながら進めることを心掛けました。結果は大成功で、参加してくれた皆さん、楽しそうに観察してくださいました。時間は制限時間の 5 分を大きく超えて 10 分でしたが・・・！他の 3 名の方の観察会もとても楽しかったです。リーダーが変わると、観察会の色合いや様子ががらりと変わります。同じ内容の観察会をしたとしても、参加者の印象はだいぶ違うだろうなと思いました。観察会での手法や知識を学ぶことも大事ですが、リーダーが人として魅力的であることもまた大切な要素と感じ、自分自身これからもたくさんの人たちと出会い交流していくことで成長していきたいと思いました。

これからリーダーとして観察会をおこなえる機会があったときにはこの二日間を思い出し、参加型の楽しいものにしていきたいです。この実習に参加するにあたり、協力してくれた夫や子供たちに改めて感謝いたします。

スタッフ参加の先輩指導員からの感想（渋田和美）

スタッフと言うからには雑用係だと信じて申し込みました。実際は講習をもう一度聞くことができたり、最後は私自身が一人の講師となると言う大役でした。打ち合わせ会でそれを知って、かなり焦りました。
講習会前日に現地入りしたこともあり、前日までは緊張していましたが、はじまったらそんなひまはない！
とにかく忙しいのなんの。で、あっという間に講師になる時間がやって来て…。やってみれば案外、いやかなり楽しいものでした。
また次回も参加しようと思ったのでした。

現地スタッフの集合写真

スタッフ参加の先輩指導員からの感想（堀謙治）

No548.「国立夜須高原青少年自然の家」自然観察指導員講習会は福岡、佐賀、熊本各県の協力のもと、無事に終わりました。三県の知恵と力を出し合った成果が、見事花開きました。講師・スタッフの息の合ったチームプレーは流石でした。
私も初心に帰って室内講義を聴き、改めてフィールドワークのやり方を学びますます自然観察会の重さをかみしめました。沢山の仲間が無事に巣立った講習会、お疲れ様でした。

笑顔で対応しました

● 春日公園での自然観察会（11/17 の午前）報告　＜田村耕作＞

天気は薄曇りから晴れという中、気温は 16 から 20℃、あたたかな晩秋でした。2 名で散策。集合場所そばの林の中を飛び交うシロハラ、なかなかじっとしてくれません。この行動は、北から渡ってきた時期よくあるようです。そばのニシキギの紅葉は鮮やかでした。カラ類の混群にも遭遇、シジュウカラやメジロがすぐそばで採餌していた。日当たりのよい散策路で、トンボを発見。この季節、みかけることの少ない生きものですが、なかなか種名がわからず他の会員さんの助けで、コ

メジロ

ノシメトンボと判明し、気持ちがすっきり。報告　田村耕作

樹上で見かけたシロハラ

鮮やかなニシキギ

動き回るシジュウカラ

採餌中のアトリ

コノシメトンボ

●　環境フェスティバルふくおか 2018 参加報告　　福岡県自然観察指導員連絡協議会

その後、団体交流会アンケートで他団体からいただいた感想を下記に記載します。

質問①　お店の様子の感想

・自然(植物や木の実)をテーマに，興味深く展開されていた。1日中たくさんの人が来ていた。
・むかじと言う木の実が羽子板の先の玉に使用されていると聞き，他の植物の実にも興味を持ちました。
無忠子(むかじ)は病気にかからないと言うおまじないの実としても縁起が良いとの事。すごく勉強になりました。
注）無忠子(むかじ)は、無患子（むくろじ）のことです。
・身近にある植物で遊べるのがよかった
・「保護」活動は少し難しいテーマであるが，四季折々に野山で採集・散見できる実や種(今の時季は)を展示し，人々の営みの中でどんな物がどのように利用され，伝えられてきたか，少々のうんちくと実演とを混じえて，身近に感じてもらえる自然の一コマを見せてくれているようだ。
・声かけや，目で見て感じるすばらしさがあった。
・自然の知恵がつまっていて，勉強になりました！
・昔からの自然のしいのみや，うらじろ等々活用，懐かしく勉強になりました！！
・指導員の方が，とても判りやすく説明して下さり，素晴らしかったです！！

質問②良かった点

・木の実や竹など，植物を笛や石鹸にしていて興味深かったです。
・植物を使った遊びで森林の大切さを教える。
・竹を割っただけで，笛になるという驚きのものを教えていただいて，とても楽しかった。
・子供の頃のなつかしい遊びを思い出しました。孫たちにも体験させたいと思いました。
・自然のものを使って，工夫されてるところがおもしろい。

12/6 の午後、参加団体の交流と反省会があり、ナイス福岡から３名が参加しました。
主催者の次回への取り組みがすでに始まっているんだと感じました。田村報告

◆◆◆◆**事務局からのお知らせ**◆◆

会費振込について

会計年度は 6 月から翌年 5 月末までです。会員の皆様、２０１８年度会費が未納の方、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費：2000 円　　郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会　01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、**平成３１年０１月 11（金）**午後６時より事務局で行います。2019 年 1 月号の原稿は、2019 年 1/8（火）届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

◆◆

編集後記　2018 年 111 月の定例発送会は、山本弘子、藤川渡、永松愛子、田村耕作が参加。今年の大きな行事である講習会を無事終えてやれやれなのです。そんな中、講師さんの道具を用いて画像のような視点で森を見ることができました。森全体を上から見下ろす視点、大変新鮮な画像でした。今までは、観察する森を外（横から）から見る、森の中に入って見上げたり、自分のまわりを見るという視点でしたが、直接ではないにせよ上から見る視点が、私にとって大変鮮やかでした。

2018 年 12 月 1 日の朝　撮影